

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	林道事業（林道改良事業）				
地区名	雁峰線				
事業箇所	新城市布里 他 地内				
事業のあらまし	<p>本路線は、新城市の西部に位置し、起点を新城市豊栄地内の国道 301 号線、終点を新城市布里地内の県道布里新城線とする延長約 33km の基幹林道である。利用区域は 1,620ha で豊富な森林資源を有し、また、地域交通の改善にも貢献する路線となっている。</p> <p>しかし、本路線は昭和 41 年度から昭和 60 年度にかけて開設された路線であり、擁壁等の施設の老朽化が進んでいる。加えて、近年の集中豪雨や大型台風などにより法面崩壊が発生し、林業活動や通行時の事故が懸念されるため、平成 22 年度から林道改良事業を実施している。</p>				
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b> 車両の円滑な通行の確保</p> <p><b>【副次目標】（必要に応じて記載する）</b> —</p>				
計画変更の推移		事前評価時	再評価時	変動要因の分析	
	事業期間	H22～H26	H22～H31	近年の豪雨、台風などにより改良事業が必要な箇所が増加した。	
	事業費（億円）	0.64	1.61	事業箇所の増加に伴い増加した。	
	経費内訳	工事費	0.64	1.61	
		用補費	—	—	
その他		—	—		
事業内容	林道改良 延長 1,053m 幅員 4.0m	林道改良 延長 2,612m 幅員 4.0m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p><b>【事前評価時の状況】</b> 法面崩壊により幹線的道路としての車両の通行が困難な状況</p> <p><b>【再評価時の状況】</b> 経年劣化とともに近年の集中豪雨や大型台風などによる法面崩壊が発生しており、依然として幹線的林道としての通行が困難な状況</p> <p><b>【変動要因の分析】</b> 特に変動要因はない。</p>			
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適切ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>		
		<p><b>【理由】</b> 法面崩壊が継続して発生しているため。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<b>【事業計画及び実績】</b> <b>事業計画及び実績</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>林道改良工事</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(千円)</td> <td>計画</td> <td colspan="5">83,044</td> <td colspan="5">77,600</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">99,180</td> <td colspan="5"></td> </tr> </tbody> </table> <b>【進捗率】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績※【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>1,365</td> <td>1,443</td> <td>106%</td> <td>2,612</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>0.83</td> <td>0.99</td> <td>119%</td> <td>1.61</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>0.83</td> <td>0.99</td> <td>119%</td> <td>1.61</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>  用地費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※林道の機能維持のため事業費を集中投下し、早期に事業効果が発現するよう努めた。</p> <b>【施工済みの内容】</b> 改良（モルタル吹付、植生基材吹付など） 延長 1,443m												H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	工種区分	調査・設計											林道改良工事	←									→	その他											事業費(千円)	計画	83,044					77,600					実績	99,180											これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績※【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	1,365	1,443	106%	2,612	55%	事業費(億円)	0.83	0.99	119%	1.61	62%	工事費	0.83	0.99	119%	1.61	62%	用地費						その他					
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																																																																													
	工種区分	調査・設計																																																																																																																							
		林道改良工事	←									→																																																																																																													
		その他																																																																																																																							
	事業費(千円)	計画	83,044					77,600																																																																																																																	
		実績	99,180																																																																																																																						
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																				
		計画【①】	実績※【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																			
	延長(km)	1,365	1,443	106%	2,612	55%																																																																																																																			
事業費(億円)	0.83	0.99	119%	1.61	62%																																																																																																																				
工事費	0.83	0.99	119%	1.61	62%																																																																																																																				
用地費																																																																																																																									
その他																																																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	近年の集中豪雨や大型台風などにより、新たに法面崩壊が発生しているため、長期化している。																																																																																																																								
3) 今後の事業進捗の見込み	<b>【阻害要因】</b> 特になし <b>【今後の見込み】</b> 計画に沿って事業を進め、平成31年度には完了する見込みである。																																																																																																																								
判定	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;"><b>B</b></td> <td> A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。  B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。 </td> </tr> </table> <b>【理由】</b> 阻害要因は特になく、今後は計画どおりの進捗が見込まれるため。										<b>B</b>	A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																																													
<b>B</b>	A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																																																								
III 対応方針																																																																																																																									
<b>継続</b> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>継続：上記以外のもの。</td> </tr> </table>												中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。		継続：上記以外のもの。																																																																																																											
	中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。																																																																																																																								
	継続：上記以外のもの。																																																																																																																								
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																																																									
■対象（事業完了後5年目） □対象外 <b>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</b> — <b>【主な評価内容】</b> 林道通行に係る事故や災害等の発生状況を確認																																																																																																																									